



< 市町村探訪 >

まちづくりフォーラムin行方(行方市)

行方市では、まちづくりの指針となる総合計画策定に着手しました。総合計画づくりに欠かせないのが市民の参加です。積極的な参画、提案をいただくために「まちづくり市民会議」設置し、市民と行政の協働により計画づくりを進めていきます。

第1回活動として5月28日、行方市玉造農村環境改善センターにおいて「まちづくりフォーラムin行方」が開催されました。「まちづくり市民会議」及び市職員からなる「若手職員会議」のメンバーを中心に約60名の参加があり、本市出身の関悦子氏による基調講演や意見交換会が行われました。

「まちづくり市民会議」とは

平成18年度に策定する行方市総合計画に対して、意見や提案をいただくために設置された市民による組織です。現在26名で構成されています。

「若手職員会議」とは

市職員のうち各部局から推薦された30歳以下の24名の職員で構成され、市民会議と一緒に活動しています。

1. まちづくりフォーラム基調講演

「小布施方式まちづくり」午後1時15分～

講師 関悦子氏

第三セクターである株式会社ア・ラ・小布施取締役企画部長として、各種イベントの実施、ゲストハウスの運営などを行っている。まちづくり実践者として全国規模での講演活動や国土交通省はじめ公的機関の委員や各種コメンテーターも務める。

【講演内容】

小布施町は、「町並修景事業」をきっかけに良好な地域景観が形成されている。古いものを残し、景観を意識したまちづくりを行っているため建物に存在感がある。

また、町にはゴミが落ちていない。住民一人ひとりが町をきれいにしようという意識(外は皆のもの、内は自分のもの)が定着している。

「オープンガーデン」と称し、花で飾られた民家等の庭を一般公開しており、訪れた人との交流の場・憩いの場として花のまちづくりを一層進めている。

農業・果樹栽培が盛んで、特に栗は600年の歴史があり栗菓子産業は小布施町の中心的地場産業になっている。

今後の課題として、町の中心地域から周辺地域の活性化、住民にとっても来訪者にとっても心地よさが共有できるか、小布施らしさ・魅力を今後も維持発展できるかなどがあげられ、まちづくりには地域資源・人間資源が重要である等現況報告がされました。



< 講師 関悦子氏 >



2. まちづくりフォーラム

意見交換会

コーディネーター 齋藤 典生氏

茨城大学人文学部教授、地域経済論などを研究し、全国のまちづくりの事例研究にも汗を流す。本市の総合計画審議会副委員長を務める。

質問 まちづくりには「よそ者、若者、ばか者」の力が必要と聞きますが、交流についてどのように進めてきたのですか。

関さん よそ者の目は大切です。小布施は昔から他人を受け入れる地域であり、他人を応援する人が多いと感じています。

質問 行方市の市民の意識が一体化する手法があればアドバイスをお願いします。

関さん 小布施は合併をしない方針でしたので合併による住民意識ということは正直わかりません。ただし、合併にかかわらず意識をしっかりと持った人たちが増えていくことでおのずとしっかりした街になっていくと思います。皆の意識が多少違って一人ひとりがこの街をどうするのか、どうしたいのか、それが大事です。

齋藤さん 小布施では、外との交流と内での交流の両方をうまく進めています。運動会やいろいろなイベントで町内が盛り上がっているそうです。

質問 小布施の町民が景観を重要とするようになったのはいつごろからでしょうか。

関さん 町並修景事業がきっかけとなっています。例えば、生け垣の補助やほう賞などで行政も関わってきました。町民が自然にゴミを捨てることなども当たり前になっています。

質問 行方市も農村景観には配慮すべきと思われませんが、小布施の農業の取り組み、地産地消などはどうでしょうか。

関さん 農業は基幹産業で、「強く、やさしく、おもしろく」が合い言葉です。来訪者に生産者、農作物、

加工などすべてオープンにすることが重要です。また、すべては難しいですが学校給食にできるだけ地元産を使っています。そこでとれたものをその場で食べるのが一番おいしいのです。

コーディネーターのまとめ

齋藤さん 小さなことを積み重ねて今の小布施があります。行政がうまく住民を引っ張っていき、そこに住民がうまく乗っていく。もともと他人を受け入れる素地や文化伝統を守る意識など、小布施の特徴をうまく捉えて進めてきています。

今日は、関さんからいろいろな知恵をいただきました。今日の縁を大切にし、これからも来訪されることもあるでしょうから、そのたびに知恵の落とし物をお願いしたいと思います。



< 意見交換会の様子 >

問い合わせ先

行方市役所 企画課

TEL 0299-72-0811

FAX 0299-72-3226

E-mail name-kikaku@city.namegata.lg.jp

http://www.city.namegata.ibaraki.jp/